

令和3年度宮城県美術館協議会 会議録

- 1 招集日時 令和3年11月2日（火）午後1時30分
- 2 招集場所 宮城県美術館 佐藤忠良記念館アートホール
- 3 出席委員 10名
尾崎彰宏会長，及川聡子委員，加藤義夫委員，古関良行委員，佐藤淑子委員
田林朋子委員，寺田早輪子委員，徳能順子委員，村上博哉委員，吉田尊子委員
- 4 欠席委員 1名
岡部信幸副会長
- 5 事務局 宮城県教育庁 武田生涯学習課長
宮城県美術館 河端館長，吉田副館長兼管理部長，濱崎副館長，加野学芸部長兼班長
齋藤教育普及部長兼班長，石田管理部副参事兼総括次長 外
- 6 次 第
 - 1 開会
 - 2 出席者紹介
 - 3 館長挨拶
 - 4 議事
 - (1) 令和2年度宮城県美術館事業の実施結果について
 - (2) 令和3年度宮城県美術館事業の実施計画について
 - (3) 美術館リニューアルについて
 - (4) その他
 - 5 その他
 - 6 閉会

【1 開 会 午後1時30分】

（司会：石田管理部副参事兼総括次長 ※以下、「司会」という。）

- ・本日はお忙しい中，宮城県美術館協議会にご出席いただきまして，ありがとうございます。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため，御発言の際は，マスクを着用のまま，マイクを使用してくださいようにお願いいたします。
- ・また，マイクの数に限りがございますので，御発言の都度，事務局職員が消毒をさせていただきます。お手数をお掛けいたしますが，御理解と御協力をお願いいたします。
- ・なお，本日は岡部副会長から所用のため欠席との御連絡をいただいております。
- ・それではただいまから令和3年度宮城県美術館協議会を開会いたします。

【2 出席者紹介】

(司会)

- ・初めに、事務局から、本日御出席の委員の皆様を御紹介させていただきます。

[尾崎委員，加藤委員，古関委員，佐藤委員，田林委員，寺田委員，徳能委員，村上委員，吉田委員，及川委員の順に自己紹介]

(司会)

- ・続きまして、事務局職員を紹介いたします。

[河端館長，吉田副館長兼管理部長，濱崎副館長，加野学芸部長兼班長，齋藤教育普及部長兼班長，武田生涯学習課長，石田管理部副参事兼総括次長の順に職員紹介]

(司会)

- ・本日の日程でございますが、午後3時ごろの閉会を予定しておりますので、御協力くださるようお願いいたします。

(司会)

- ・本会議の定足数の確認でございますが、委員11人のうち、本日は10人の出席をいただき、過半数に達しておりますので、美術館協議会条例第6条第2項の規定により、本会は有効に成立していることを御報告いたします。
- ・また、情報公開条例第19条の規定により、この会議は原則公開となっております。
- ・本日は5人の方が傍聴されております。

【3 館長挨拶】

(司会)

- ・それでははじめに河端館長より挨拶を申し上げます。

(河端館長)

- ・河端でございます。
- ・本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・美術館協議会の開会にあたりまして、一言御挨拶を申し上げたいと思います。
- ・委員の皆様方には日頃から当美術館の運営につきまして、多大なる御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。
- ・本会の開催に当たりましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催延期としていましたが、改めて開催するという事で、日程調整など大変御迷惑とお手数をおかけいたしました。本当にありがとうございます。
- ・昨年度は4月に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、今年の2月には福島県沖地震の影響による施設設備の点検及び修繕のため休館となりました。予定外の休館によりまして、一部会期の変更やイベントの中止等がございましたが、そのような中でも予定した4つの特別展を開催することができました。
- ・コロナ禍にありながらも、特別展、常設展を合わせまして約18万人、令和元年度は約10万人でございましたので、それを大きく上回るお客様に御観覧いただきまして、改めて県民の皆様への美術芸術への関心の

高さを感じたところでございます。

- ・今年もコロナ禍の中でございますけれども、お手元にパンフレットがありますように、足立美術館展、香月泰男展、現在はランス美術館展が開催されています。また、宮内庁三の丸尚蔵館が改築するというところで、三の丸尚蔵館からその所蔵品で東北にゆかりのある作品を全国展開したいとお話があり、喜んで受けさせていただきました。そして、三の丸尚蔵館の御協力をいただき、ランス美術館展とともに三の丸尚蔵館展を開催しているということでございます。ただ、新型コロナウイルスの影響がかなりありまして、入館観覧者の伸びは去年ほどにはならないのかなという感じでございます。
- ・あと、もう一つ、特別展で絵本原画の世界 2022 がございますので、それもしっかりやっていきたいというところでございます。
- ・新型コロナウイルスも、東京で昨日は1桁ということでやや落ち着きつつありますが、一旦油断すると一気に増えるということもございます。当館としましてはお客様においでいただくので、引き続き新型コロナウイルス対策に万全を期して、お客様や職員などから新型コロナウイルス感染者が出ることをないように取り組んでまいりたいと考えてございます。
- ・さて、本日の議事でございますが、お手元の次第にございますように、令和2年度の事業報告、そして令和3年度の事業計画につきまして、報告させていただきたいと思っております。
- ・また美術館リニューアルについて、宮城県教育委員会生涯学習課長から説明させていただくこととしておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。
- ・委員の皆様方には、美術館事業の運営につきまして、それぞれの専門的なお立場から、また利用者の一人といたしまして、幅広い観点から忌憚のない御意見を賜り、これからの美術館運営に生かしてまいりたいと考えております。
- ・最後になりますが、委員の皆様には今後とも当館に対しまして、これまで以上の御支援を賜りますようお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

【4 議事】

(司会)

- ・続きまして、議事に入ります。
- ・美術館条例第6条第1項で、会長が議長になるとの規定がございますので、これからの議事進行を尾崎会長にお願ひしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

(議長)

- ・これからの議事について、皆様方の御協力を得まして、円滑に進めていきたいと思っております。
- ・前回、美術館協議会が開かれましてのは昨年6月ということで、その頃から比べますと、美術館を取り巻く状況が随分好転してきたと考えております。
- ・そもそも美術館が日本へ入ってきたのは、博物館も同様ですが、明治以降に日本が近代化していく中で入ってきたわけです。
- ・その近代化は、別の言い方をすれば西洋化ということですよ。
- ・要するに、西洋に習って政治体制など色々な諸整備が行われていく中で、美術館も入ってきたということだと思います。
- ・そういう中で政治的だというのは、もともと美術作品は王侯貴族が自分たちの印として、旗頭・旗印として持っていたものですが、それを特にフランス革命以降に、美術館という形で市民の人たちに開放していくということがありました。

- ・つまり、市民にとっても象徴・旗として美術作品があるようになったわけです。
- ・今、ランス美術館展を開催していますが、カミーユ・ピサロの作品が一点あり、そこにルーヴル美術館が描かれている絵があります。
- ・今日この作品を見て、なるほどと思ったのです。というのは、普通ですと教会を描いたりするのですが、そういう美術館を描くということに一つの象徴的な意味合いがあり、美術館は市民のものなのだ、市民の旗なのだということを思ったからです。
- ・美術館は、一つは政治的なものであり、もう一方は教育の材料として、感性を豊かにしていくというものだと思います。
- ・先ほど河端館長から令和元年度は10万人で、令和2年度は約18万人に増えたということで、これはある意味では大変喜ばしいことなのだろうと思っています。
- ・それは美術館の方々の大変な御尽力があっただと思います。が、数字的に見れば教育的な意味で、美術館の普及が少しずつ進展していると思われまます。
- ・つまり、美術館には政治的な要素、教育的な要素があるわけですが、政治と教育にプロはいないということが俗に言われております。
- ・誰々が専門家だとはありませんので、今日おいでになっている委員の方々を含めまして、この委員会の中で忌憚のない色々な御意見を伺えれば大変よろしいかなと思います。
- ・さて、私の挨拶はこれくらいにいたしまして、まず議事の一つ目ですけれども、令和2年度宮城県美術館事業の実施結果について、事務局から御説明をお願いします。

(吉田副館長)

- ・令和2年度宮城県美術館事業の実施結果の概要について御説明申し上げます。
- ・令和2年度におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、県有施設が一時利用休止となりまして、美術館も令和2年4月11日から5月17日までの間、臨時休館をいたしました。
- ・また、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震によりまして、外壁パネルの一部損傷、お客様スペースの天井パネルの不具合が確認されましたことから、令和3年2月14日から4月19日までの間、臨時休館をいたしまして、施設設備の点検・修繕を行ったところであります。
- ・そのため、美術館事業につきましても、常設展示、特別展示の会期が一部変更になりました。
- ・また、教育普及活動につきましても創作室等の利用の休止のほか、館内で予定されていた各種催事についても日程の変更を行ってまいりました。
- ・それでは資料1をご覧いただきたいと思えます。
- ・令和2年度宮城県美術館事業の実施結果につきましては、資料の1ページから1 美術作品等の展示、2 教育普及活動、3 美術作品等の収集・保存、4 美術に関する調査・研究、など6項目に分けて、3ページまで記載をしております。
- ・はじめに1ページの1 美術作品等の展示の(1)常設展示につきましては、本館1階の展示室で当館が所蔵する代表的な作品を展示するコーナーと、テーマに沿って展示する特集コーナーに区分し展示を行いました。
- ・令和2年度におきましては、4回の展示替えを行っております。
- ・本館の特集展示では、ロに記載のとおり、4月8日から臨時休館を挟んで7月5日まで開催した、「(イ) 太田 聴雨」をはじめ、4回の特集を行いました。
- ・また、佐藤忠良記念館では、佐藤忠良氏の彫刻などに加え、当館で所蔵する絵本原画をテーマ別に特集して展示してまいりました。

- ・内容につきましては、ハに記載のとおりでございます。
- ・次に(2)の特別展示でございますが、令和2年度は4つの展覧会を開催いたしました。
- ・イの「ウィリアム・モリス」展につきましては、英国のデザイナーとして知られるウィリアム・モリスがデザインいたしました壁紙やテキスタイルなどを紹介したものであります。
- ・ロの「リヒテンシュタイン公爵家の至宝展」につきましては、2019年に建国300年を迎えたりヒテンシュタイン侯国の歴史が刻まれた公爵家の珠玉のコレクション126点を紹介したものです。
- ・ハの「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」につきましては、東山魁夷が生涯最も長い年月をかけて完成させた唐招提寺御影堂の障壁画全56面を一堂に公開するとともに、下図などの制作の過程も展示したものでございます。
- ・ニの「奈良・中宮寺の国宝展」につきましては、飛鳥時代を代表する仏像である東北地方では初めての公開となる国宝の菩薩半跏思惟像をはじめとした中宮寺に伝わる寺宝の数々を紹介したものでございます。
- ・それぞれの展覧会の観覧者数につきましては、資料の6ページに、宮城県美術館事業報告等資料(1)令和2年度事業別実施状況に記載がありますのでご覧いただきたいと思います。
- ・その表の中の1展示事業中、(1)の常設展示事業につきましては、開催日数が213日、利用者数は53,268人でございました。
- ・なお、常設展の利用者数につきましては、本館と佐藤忠良記念館の利用者がほとんど重複しておりますので、従来と同様に本館の利用者数を常設展の利用者数とさせていただいております。
- ・次に、(2)の特別展示事業につきましては、展覧会によって開催日数や利用者数に違いはございますが、4つの特別展の合計では開催日数が172日、利用者数が129,609人でございます。
- ・休館、会期の変更等がありました令和元年度の約2倍のお客様にご来館いただき、特にハ 東山魁夷展につきましては、38日間で、41,596人の皆様に御鑑賞いただくことができました。
- ・次に、2ページをお開きください。
- ・2 教育普及活動でございますが、県民が「いつでも、だれでも」自由に利用できるオープンアトリエとしての創作室の運営や鑑賞教育、各種ワークショップを実施するとともに、講演会の開催などを通じて、美術に関する教育とその普及に努めたところでございます。
- ・(1)の通常活動といたしましては、十分に感染症対策を行った上での「オープンアトリエ」の運営のほか、造形活動の「ワークショップ」、アートホールでの美術館の概要説明や、展示解説などの鑑賞教育を継続して実施することにより、美術を広く楽しむ場を提供することができたものと考えております。
- ・(2)の特別活動のうち、イの公開講座につきましては、一部中止や延期、内容を変更したのもございますが、「実技ワークショップ」や3歳から10歳前後の幼児や児童対象とした「どようびキッズ・プログラム」を実施いたしました。
- ・ロの美術講座につきましては、東北工業大学との連携事業である「まちなか美術講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、また、みやぎ県民大学は、地震の影響による臨時休館のため中止といたしました。令和元年度に中止を余儀なくされた美術館講座を改めて開催いたしましたところでございます。
- ・3ページの(3)展覧会関連事業につきましては、一部中止したのもございますが、感染症対策を講じながら講演会やトーク・イベントなどを実施いたしました。
- ・教育普及事業の詳細につきましては、資料の7ページから12ページに記載してございますので、後ほどご覧いただければと思います。
- ・5ページの3 美術作品等の収集・保存でございます。
- ・令和2年度につきましては、新たな作品の取得はございませんでした。

- ・ 4 美術に関する研究・調査, 5 宮城県美術館キャンパスメンバーズ及び6 宮城県美術館ボランティアにつきましては, それぞれ記載のとおりでございます。
- ・ 令和2年度, 宮城県美術館事業の実施結果の概要については, 以上のとおりでございます。

(議長)

- ・ どうもありがとうございました。
- ・ ただいまの事務局の説明に対しまして, 御質問, 御意見がございましたらよろしくお願いたします。いかがでしょうか。
- ・ 展覧会が4つ開かれましたが, 特に事務局の方から何か問題があったとか, 素晴らしいことがあったとか, そういう話がございますか。あるいは苦労したというようなことはございますか。

(濱崎副館長)

- ・ 副館長の濱崎です。
- ・ 昨年度の展覧会で非常に大きい事柄が一つ, 当館で初めて国宝の展示をしたということがあります。
- ・ 奈良の中宮寺にある半跏思惟像という国宝は, 東北にきたことはございませんでしたけれども, その国宝の仏像を, しかも展示ケースから外に出して皆様に御覧いただけたことは, 非常に美術館にとってもいい経験になったと思っております。

(議長)

- ・ どうもありがとうございました。
- ・ 東山魁夷展のときも素晴らしかったです。大変心が動かされる展示だったと思います。他にいかがでしょうか。

(古関委員)

- ・ 河北新報の古関と申します。
- ・ 令和2年度と言いますと, 東日本大震災から10年というちょうど節目でした。水戸美術館や各地の美術館では, 震災とアートをテーマにした企画展などがありましたけれども, 残念ながら被災地にある宮城県美術館からは, 宮城県発の独自の展覧会などの企画はありませんでした。
- ・ 震災とアートをテーマとした企画展や, 震災に関する情報発信について, 美術館としてどのようにお考えなのかということをお伺いしたいと思います。

(濱崎副館長)

- ・ 震災後10年ということで, 御指摘があったような展覧会, あるいは情報発信というのは確かになかなか難しかったのですが, 昨年度開催いたしました東山魁夷展, それから先ほど申し上げました中宮寺の国宝の展覧会に関しましては, 所蔵家の方の御意向もあって, 震災後10年の復興祈念ということで2つとも冠をつけさせていただいております。
- ・ 東山魁夷展の唐招提寺の方もそうですけれども, 特に奈良・中宮寺の国宝展は, 中宮寺の御門跡様から直接に祈念行事をしたいということで, 当館での開催ということになっております。情報発信の仕方は違いかもかもしれませんが, そういう祈りを込めた展覧会であったということも, ここで申し添えておきます。

(議長)

- ・ どうもありがとうございました。他にいかがでしょうか。

(佐藤委員)

- ・ 桂小学校の佐藤です。
- ・ 利用者としての話になるかと思うのですが, 中宮寺の展覧会で仏像の後ろ姿まで見られるということがなかったので, とても癒されました。

・そういう意味では、あの形で展覧会を開いていただけたということが良かったなと思いました。周りにいた方々が見ている様子を見ましたけれども、あの時期に開催されたことが良かったのかなと大変感じました。

・情報発信や、その情報の受け取り方は色々なことがあると思うのですが、様々な形で受け取ったのではないのかなということも、利用者としては思いました。

(議長)

・事務局の方から委員の発言に何かございますか。

(濱崎副館長)

・ありがとうございました。仏像を展示するということは、仏像の美を展示するということも一つありますし、その物が持っている信仰という部分もありますので、その両方を色々な形で受け取っていただければということで周囲からぐるりと回って見られる展示にしました。

・しかも、1ヶ所から照明を当てると人の影が出てしまうので、影が出ないようにぐるりと半円形状の照明を壁に仕込んで、その効果をあまり気付かれないようにしながらも、鑑賞の邪魔にならないようにという工夫もしておりました。その辺も見えていただければ幸いかなと思いました。ありがとうございました。

(議長)

・どうもありがとうございます。

(及川委員)

・私は作品を作るものとして今のお話を伺っていて思ったのですけれども、きちんと震災後10年と銘を打っていないくとも、展覧会を拝見するときに、東山魁夷展と中宮寺の展示につきましても、祈りを込めてということ、鎮魂ということ、特に半跏思惟像は未来の救いの仏様ですから、そういった希望というものを含めての展示であるということをしみじみと感じておりました。

・それから東山魁夷展は、会場を一つのお寺の形に近づけるご苦労があったと思いますが、非常に工夫をされて東山先生もお喜びだろうと感じました。

・そして、私は主に日本画に携わっているのですけれども、私の友人から、日本画を身近にしていない若い世代の人たちも多く足を運んで、「とても和んだ。気持ちが癒された。静かな気持ちを味わえた」という意見がたくさんあったと聞きました。

・もう一つは、仏像をお寺から運んで美術の場に運び込むことは、仏像を信仰の対象としてではなく、美術品として見るということであり、私はいつも心の中で微妙な気持ちになります。

・それは、仏像を背後から見るということは、とても希有で貴重な経験であるとともに、いつも心のどこかで背後から見ていいことなのだろうかと思うからです。

・作り手は、仏像を作る時に背後から見られることは考えていません。

・けれども、背後もきちんと作っている。

・このことを、見る方、展示をする方にいつも感じていただきたいと思います。

・濱崎副館長が照明の話がされた時に、この仏像はただの美術、美しい姿ではなく、美術館の方々がこの仏さんに対しての一つの光背をお与えになったのかしらというようなことを感じました。

(議長)

・どうもありがとうございます。

・他に何かございますか。

(加藤委員)

・サン・ベンディング東北の加藤でございます。

- ・コロナ禍で展覧会の開催が大変厳しく、東京の美術館でも事前予約とするなど大変苦慮しているようです。
- ・年に 20 回近く様々な展覧会を見に行くのですけれども、宮城県美術館は派手な展示会ではない中でも、内容は大変充実していて、どの展示にしても良かったです。
- ・ウィリアム・モリスやリヒテンシュタイン、また中宮寺の仏像の展示も本当に皆さん御尽力ありがとうございました。
- ・その甲斐もあって相当入場者数が増えていると思われま。
- ・コロから印象派のランス美術館展も、コロの絵が 16 枚、またブータンの絵が来るという珍しいケースだったと感じました。
- ・ランス美術館展は、お客さんがあまり反応しないのではないかと思っていたのですけれども、お客さんは予想以上に時間かけて見ており、大変うれしかった。
- ・共催しているため、美術館から招待券をいただいて、それを会社のお客様に配るのですけれども、非常に良かったという声がありました。
- ・そんな中で、宮城県美術館の宝物というのは、ここにしかない絵本原画ではないかと思われま。
- ・来年、絵本原画の世界 2022 という展示会があると思いきけれども、ぜひこの唯一ここにしかない作品を、どうぞ子どもたちに見せてあげてください。
- ・やはり、子どもの頃から感性を磨くことが大変大事なことで、またそれは美術館の役割ではないかと思われま。
- ・私の方もできるだけ御協力します。

(議長)

- ・どうもありがとうございました。事務局の方から何かございますか。

(濱崎副館長)

- ・貴重な御意見ありがとうございました。
- ・先ほどの及川委員からお話があった件で、確かに仏像を後ろから見ていいのだろうかという思いは、私も非常に強く思っておりました。
- ・しかし、中宮寺にまいりましたら、実は中宮寺が仏像を後ろからも見えるようにしていたのです。
- ・このことが少し後押しをしてくれまして、後ろからも正々堂々と見えるような空間を作ったという背景がございました。
- ・あと加藤委員からお話いただきましたように、当館の非常に貴重な宝の一つとして絵本原画がございます。
- ・絵本原画は見せ方もまだ固まっていらないので、色々な展開の仕方や見せ方があると思いき。来年の展覧会でもまた一つ新しい見せ方ができればと思っております。

(議長)

- ・どうもありがとうございました。
- ・まだ色々御意見あろうかと思いきですが、先に進みたいと思いき。
- ・それでは次の議題につきまして事務局の方からお願いいたします。

(吉田副館長)

- ・それでは引き続きまして、令和 3 年度宮城県美術館事業の実施計画について、その概要を御説明いたします。
- ・同じく資料 1 の 4 ページをお開きいただきたいと思います。
- ・令和 3 年度宮城県美術館事業の実施計画につきましては、先ほど御説明いたしましたとおり、福島県沖地震の影響により 4 月 19 日まで臨時休館といたしまして、施設設備の点検修繕を行いましたことから、常

設展示の会期を変更しております。

- ・また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種公開講座、ギャラリートーク等の教育普及活動につきましても、一部中止、日程の変更を行っているところでございます。
 - ・1 美術作品等の展示のうち(1)の常設展示でございますが、令和2年度と同様に本館1階の展示室では、当館の所蔵する代表的な作品を展示するコーナーとテーマに沿って展示する特集コーナーに区分し、年4回の展示会を行うこととしております。
 - ・また、佐藤忠良記念館におきましても、佐藤忠良氏の彫刻のほか、絵本原画や洲之内コレクション等の特集し、これも年4回の展示替えを行うこととしております。
 - ・本館の特集展示につきましては、ロに記載してありますとおり、第1期では「新ヨーロッパ版画集」を、第2期では「松本竣介」をテーマとし、展示をいたしました。
 - ・現在は、所蔵名品選をテーマに展示を行っております。
 - ・佐藤忠良記念館での絵本原画等の特集につきましては、ハに記載のとおり、現在「山脇百合子」と洲之内コレクションの展示を行っております。
 - ・(2)の特別展示でございますが、「足立美術館展」につきましては、4月24日から6月6日まで開催し、資料には記載してございませんが、39日間で25,563人の方に御観覧いただきました。
 - ・それから、引き続き開催いたしました7月3日から9月5日までの「香月泰男展」につきましては、こちらも記載ございませんが、56日間で5,382人に御観覧いただいたところでございます。
 - ・現在は2階展示室で「ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ」を、1階展示室では「宮内庁三の丸尚蔵館所蔵 皇室の名品展」を11月7日まで開催しております。
 - ・来年2月からは「絵本原画の世界2022」展を予定しているところでございます。
 - ・資料の5ページ、2の教育普及活動につきましては、令和2年度と同様に、記載のとおり実施をする予定でございます。
 - ・(1)の通常活動は、「オープンアトリエ」の運営や鑑賞教育などを実施してまいります。
 - ・(2)の特別活動のイ 公開講座では、「実技ワークショップ」、「どようびキッズ・プログラム」などを実施してまいります。
 - ・ロの美術講座では、みやぎ県民大学の一環として、「目の前の物事をみつめる」をキーワードに、講座を4回開催するほか、外部講師を招聘して美術館講座を開催する予定としております。
 - ・なお、今年度の教育普及活動のうち、すでに実施いたしました特別活動などの状況につきましては、参考資料として配布した令和3年度における主な教育普及事業の実施状況をお目通しいただければと思います。
 - ・それから3 美術作品等の収集・保存につきましては、美術品収集専門部会の会議を今後開催し、収集作品の選定などの御審議を賜りたいと考えております。
 - ・4の美術に関する調査・研究については、記載のとおりです。
 - ・令和3年度宮城県美術館事業の実施計画につきましては、以上のとおりでございます。
- (議長)
- ・どうもありがとうございました。ただいまの御説明に対して、何か御意見あるいは御質問等ございましたらお願いします。
 - ・先ほど古関委員から、宮城県美術館の独自の企画がもう少しあった方が嬉しいということをおっしゃっていただいたので、去年のことを思い出しましてお聞きしたいと思います。
 - ・それは前川國男さんの建築に関する展覧会です。

- ・色々な展示の仕方があるかと思いますが、宮城県美術館で開催してはどうかという御提案があり、学芸部で検討しますということをおっしゃっていただきました。すぐにできる話ではないかと思うのですが、将来的にいかがでしょうか。

(濱崎副館長)

- ・昨年、加藤委員から提案があり、尾崎委員からも開催についてどうでしょうかという話がありました。そして、将来的に検討させていただきたいという話をしました。
- ・昨年度ウィリアム・モリス展があり、モリスはデザイナーですが、必ずしも建築と無関係な人ではございません。
- ・建築についての展覧会というのは展示の手法も難しいと思われませんが、モリス展のような展示の切り口や他の色々な切り口を見つけながら、建築についての展覧会を考えていければと思っております。
- ・ただ、簡単ではないと感じておりますので、今後検討させていただければと思っております。
- ・よろしくをお願いします。

(議長)

- ・村上委員は現在美術大学にいらっしゃるので、建築の専門家もおいでになるのではないかと思いますいかがでしょうか。

(村上委員)

- ・私が今年3月までいました国立西洋美術館も、本館はル・コルビュジエと前川國男、その他3人の日本人建築家が協力してできたもので、開館から20年後にできた新館という建物は前川國男の設計です。
- ・他にも、上野の東京文化会館や東京都美術館、福岡市美術館もやはり前川國男です。美術館だけでもかなりたくさんあります。
- ・もちろん前川國男さんは美術館だけではなく、日本の近代建築全体にとって非常に重要な作家です。
- ・私も西洋美術館にいた時に、ル・コルビュジエ関連の展覧会で建築を取り上げたことがあります。
- ・やはり普段の美術館に来る方々と全然違う客層で、美術館の裾野を広げるという意味では、建築についての展覧会をやる意義がとてもあると思います。
- ・建築を仕事にしている人はかなり多いと思うので、特に前川國男さんのような方の展覧会をやっていれば絶対行くという人は相当数いるのだと思います。
- ・なので、普段の美術館のお客さんの層とはかなり違うけれども、より多くの方に関心を持ってもらうといった意味では、建築についての展覧会をやる意義はとてもあると思います。
- ・昔は図面と向き合うばかりでしたが、今では色々な映像、例えば実写映像からCGなど、色々な展示の仕方があり、やはりそれはそれで非常に面白く、学芸員にとっても勉強になると思います。普段、美術展でCGを用いた展示をすることがないと思うのですが、建築についての展覧会をやることは大変意義があると思います。

(議長)

- ・どうもありがとうございました。いずれにしましても、村上委員のような強いサポーターもおいでになるので、将来的にぜひ考えていただければと思います。

(村上委員)

- ・別の話で一つあります。私は4月から大学に移り、色々な授業で日本の美術館にある作品をなるべく紹介したいと思っております。
- ・欧米の美術館はここ数年、急速にデジタル画像による所蔵品の公開が進んでおり、欧米の大きな美術館では、解像度のかなり高い画像で主要な作品を公開しています。そして、作家の著作権が切れていけば、無

料でダウンロードして自由に使えるようにしています。

- ・一方、日本の美術館は残念なことに、デジタル画像による所蔵品の公開はまだ進んでおりません。宮城県美術館にも、例えばカンディンスキーやクレーなど非常に貴重な作品があります。
- ・なので、公開してよい画像があれば、大学の授業で宮城県など地方の美術館を紹介して、実際に地方の美術館に行って作品を見ることを生徒に勧めたいと思っています。
- ・地方の美術館の所蔵品は、検索しても良い画像が見つからず、その美術館のウェブサイトでもあまり公開していません。
- ・主要な作品の 50 点程で、パソコンの画面で見るに耐える画像であれば十分なので、公開することをお願いしたいと思います。
- ・そういうものを見て、この美術館に行ってみようという人は、特に若い人多いと思います。
- ・それには、まず作品を撮影しないといけないということがあります。特に主要な作品からでも、ぜひお願いしたいと思います。
- ・著作権が切れていれば公開することに問題はないはずなので、美術館のPRにも繋がっていくと思います。ぜひご検討をお願いしたいと思います。

(濱崎副館長)

- ・まさに、これからリニューアルを控えて、そういう館内の作品のデータ整理、それからそのサービスの提供を考えようとしているところです。
- ・特に著作権が切れたものに関して、ハードルはそれほど高くはないかと思っております。
- ・村上委員のお話を参考にさせていただきながら、今後どういう公開の在り方が可能なのか、当館の中で議論を重ねながら、データの情報公開について、議論を積み上げていきたいと考えております。
- ・まだ具体的なものはないので、これからの問題かと思えます。
- ・どうも問題提起ありがとうございました。

(議長)

- ・一度に 50 点公開までといかなくとも、小出しに公開して、少し瀬踏み始めていただくと大変助かると思います。非常に宣伝にもなると思いますので、ぜひ御検討いただければと思います。
- ・他にございますか。いかがでしょうか。

(古関委員)

- ・11月3日、明日は宮城県美術館が開館40周年を迎えられることかと思えます。どうもおめでとうございます。
- ・つきましては、今年度の事業で40周年を記念した事業等の御計画はなかったのでしょうか。

(濱崎副館長)

- ・開館40周年ということで当館として何かないのかということをお質問でしたが、当館としては35周年もやっておりませんので、40周年も計画しておりません。

(議長)

- ・40周年を記念した企画は、民間の方が県民ギャラリーを使用して、これまで40年の間にどういう展覧会が開かれたのかという企画をされて、美術館からは資料の提供など色々な形で御協力をいただきました。
- ・その企画を見まして、宮城県美術館はすごく発展しており、面白いものやっているなということが一望できて、大変良かったと思います。
- ・ですので、宮城県美術館は非常に頑張っているということは分かりました。
- ・美術館の大変な御協力を得て、過去の展覧会の開催当時のポスターがすべて貼ってありました。

- ・他にございませんでしょうか。
 - ・それでは3つ目の議題に進みたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
- (武田生涯学習課長)
- ・生涯学習課の武田でございます。
 - ・資料2をご覧くださいと思います。
 - ・美術館リニューアルにつきまして、これまでの経過と今後の予定について、御説明させていただきます。
 - ・はじめに、1 施設整備の方針決定後からの経過について御説明させていただきます。
 - ・県では昨年12月23日に仙台医療センター跡地における県有施設再編に係る施設整備の方針を決定いたしました。
 - ・この方針におきまして、美術館は増築せずに現地改修し、宮城県民会館とみやぎNPOプラザは仙台医療センター跡地に移転集約することとなったところでございます。
 - ・県教育委員会ではこの方針に基づき、美術館の現地改修を進めるため、方針決定後、美術館リニューアル基本方針の策定に携わっていただいた関係者等に対しまして、施設整備の方針等を改めて御説明をさせていただき、御理解をいただいたところでございます。
 - ・また、美術館の現地改修に当たりましては、リニューアル基本方針を尊重して進めることとしております。
 - ・美術館は増築せずに現地改修するという施設整備の方針を踏まえ、別紙宮城県美術館リニューアルの進め方として整理をいたしまして、今年1月に公表したところでございます。
 - ・2月には、「宮城県PPP・PFI導入調整会議」における審議を踏まえ、事業手法は「従来手法」としてリニューアルを進めることが決定をいたしました。
 - ・その後、建築設備の担当部局と情報共有を図りながら、改修設計に係る入札手続き等の準備を進めさせていただきまして、今年8月に入札公告を行い、先月14日、株式会社大宇根建設設計事務所と契約を締結したところでございます。
 - ・なお、株式会社大宇根建築設計事務所は、宮城県美術館リニューアル基本方針の策定の際にも御協力をいただいているほか、本館設計にも携わっていただいた大宇根氏が設立した設計事務所であり、リニューアル基本方針や美術館の建築価値を十分に尊重した改修設計をしていただけるものと考えております。
 - ・続きまして、2 今後の予定でございます。
 - ・現時点での想定でございますが、令和5年3月までに設計を行い、令和5年10月から改修工事を実施して、令和7年度中のリニューアルオープンを想定しております。
 - ・引き続き、美術館リニューアル基本方針の策定に携わっていただいた関係者の皆様から御意見をお聞きしながら、美術館とともにリニューアル基本方針を尊重した改修設計を進めてまいりたいと考えてございます。
 - ・以上でございます。

(議長)

- ・どうもありがとうございました。いかがでしょうか。
- ・それでは私の方からお話を伺いたいのですが、前川國男が設計した美術館が保存されていくということは大変いい決断、正しい決断だったと思います。
- ・それでリニューアルなのですが、事業経費はどのようになっていく予定なのでしょうか。

(武田生涯学習課長)

- ・資料2の2枚目リニューアルの進め方の、第4章 事業の実現に向けてにございますが、概算事業費で約30億円と見込んでいるところでございます。

(議長)

- ・概算事業費は移転を考えたときと比べるとどのくらい違うものなのですか。

(武田生涯学習課長)

- ・移転を考えたときと比べてということをございますか。

(議長)

- ・はい。いわゆる今の医療センターの方に移転するという時です。
- ・そんなに細かい数字はいらないので、だいたい結構です。
- ・増えているはずはないように思うのですが、すぐに出てこないようならば別に結構です。
- ・問題は金額よりも、実際にリニューアルして満足のいくものになるのかどうかということです。
- ・このリニューアルの案で、これからもう少し色々な形で練り上げていくことになるかと思うのですけれども、学芸部でも十分議論されているのでしょうか。
- ・例えば、収蔵庫の問題は昨年も随分問題になっていて、今現在もう満杯状態で作品の保存等に支障を来すということが記憶にあるのですけれども、収蔵庫の問題はこのリニューアルで解決するのでしょうか。

(濱崎副館長)

- ・収蔵庫と展示室もそうですが、これからどうしていくべきか、どうしていったらいいのかというのは学芸部からももちろん意見は出させていただきます。

(議長)

- ・それで、要するに増築がない形で進めるということによろしいですか。

(武田生涯学習課長)

- ・はい、そうでございます。

(議長)

- ・増築がないというのはどこで決まった話なのですか。
- ・必要であれば、増築をやらざるをえないのではないかと思います。
- ・検討委員会の中で、増築を伴う案をそのままやるのは、色々予算的にも難しいのではないかとというようなことがあったようですが、増築しないということとはまた違うように思います。
- ・だから、必要であれば増築も考えないといけないかと思うので、そういう問題は学芸部等を含めて十分練り上げていただきたいと思います。
- ・リニューアルをしたけれどまた何かが足りませんという話になって、美術館をまた閉館しないといけなくなると大変困るので、利用者側の意見というのも十分入れていただきたいと思いますのですが、大丈夫でしょうか。

(武田生涯学習課長)

- ・そこは我々も美術館側と共に考えているところでございますので、こちらが一方的に進めるというものはありません。

(議長)

- ・ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

(加藤委員)

- ・リニューアルの期間中の2年くらいは、閉館になるのでしょうか。

(武田生涯学習課長)

- ・閉館になる予定です。

(加藤委員)

- ・それは残念です。

- ・30億円掛けるわけですから、ぜひお願いしたいのは、絵本原画の展示室を作っていただきたいということです。
 - ・「はじめてのおつかい」は本当に何度見ても大変素晴らしい作品です。
 - ・これらのほとんどが倉庫の中に入っているわけですから、もったいないと思います。
 - ・それからもう一つ、図書室はほとんどお客さんが入っていないようです。
 - ・幼稚園や小学校から子どもたちを招くと、お母さんも一緒になって来る。そして来た子どもたちが大きくなれば、恋人などと一緒にまた来ると思うので、絵本原画の部屋を作っていただけたらと思います。
- (議長)
- ・今答えられる範囲で、いかがでしょうか。
- (武田生涯学習課長)
- ・単独で設置できるかどうかというところはございますが、御意見は承らせていただきます。
- (村上委員)
- ・この移転かリニューアルかという問題に関して、たまに報道を聞く程度であまり経緯が分からなかったのですが、最終的には移転せずに残ることになって非常に良かった。
 - ・改めて、宮城県美術館は非常にいい建築で、前川國男さんの代表作の一つと言える建物だと思います。
 - ・その建築作品としての価値と、そして機能をどのようにリニューアルの中で改善していくか。
 - ・これは難しい問題だと思いますが、やはり建築作品としての価値というのも最大限に配慮する必要があると思いますので、よく検討していただきたい。
 - ・例えば展示室の内装などは、40年も経てば明らかに古びてくるというだけではなく、設備そのものが時代に合わなくなっている面もあります。
 - ・そういう点でのリニューアルになると思いますが、デザイン上の前川建築の良さというのを維持しつつ改修することも、やはり考慮する必要があるだろうと思います。
 - ・この美術館は非常にすばらしい建築だと思っていますので、配慮すべきだろうと思っています。
- (議長)
- ・どうもありがとうございます。今の村上委員に何かございますか。
- (武田生涯学習課長)
- ・今、御意見ございましたように、この建物を尊重した形のリニューアルになるように進めていきたいと考えてございます。
- (議長)
- ・どうもありがとうございます。
- (寺田委員)
- ・仙台放送の寺田です。
 - ・一昨年、現地改修の案を見せていただいた時には、リニューアル完成予想図のようなイラストがたくさん載っていたのですが、あのイメージを尊重してリニューアルするというのでよろしいのでしょうか。
 - ・あと、やはり気になるのが見える収蔵庫です。これはすごく目玉になるものだと思うのですが、この規模感がよく分らないです。どのぐらいの大きさの見える収蔵庫ができるのかというのを教えていただきたいと思います。
 - ・もう一つは、先ほどの加藤委員のお話にもありましたが、この改修工事の期間は休館されるのですかという質問に対して、休館ですということでした。
 - ・この県美術館の移転問題が出た時に、私たち報道も大きく取り上げまして、県民がこの美術館の価値に気

が付くすごく貴重な機会になったのではないかと思います。

- ・リニューアルされる美術館も価値のあるものになるということを、この休館の期間中、改修工事の期間に、我々マスコミなども活用して、美術館の価値について情報発信するというお考えは何かあるか、お伺いしたいと思います。

(議長)

- ・どうもありがとうございます。いかがでしょうか。

(武田生涯学習課長)

- ・最初のリニューアルの基本方針のイメージ図かと思いますがけれども、現時点ではまだそこまでの図というものはありません。
- ・見える収蔵庫でございますが、現在県民ギャラリーが2室ございまして、現時点の予定ではそのうちの1室を収蔵庫にさせていただきまして、その一部に見える収蔵庫という形にできればと考えているところでございます。

(寺田委員)

- ・地下1階の県民ギャラリーでしょうか。

(武田生涯学習課長)

- ・そうです。

(議長)

- ・よろしいでしょうか。

(寺田委員)

- ・改修工事の期間の情報発信の仕方はどのようにお考えでしょうか。

(武田生涯学習課長)

- ・その点につきましては、今後美術館と調整をし、話し合いながら考えていきたいと思っております。

(議長)

- ・ぜひリニューアルの途中経過を映像化したものを情報発信していただくと、リニューアルへの関心は盛り上がっていくかなという気がします。
- ・それから、もう一つは実際に工事に入る前の段階です。
- ・昨年度の協議会の時には「リニューアルはこのようにします」というような情報提供がありました。今回「こういう形でリニューアルがスタートしていきます」という、もう少し具体的なものを何らかの形で情報共有できるのでしょうか。

(武田生涯学習課長)

- ・策定した基本方針は冊子としてありますけれども、現時点で我々の方で進捗度合い、進んでいるものとしたしましては、本日お示しをさせていただきました1枚もの、そういう状況でございます。
- ・あとは先ほどの説明で申し上げましたとおり、設計事務所も決まりましたので、美術館や設計事務所と色々話をしながら作業が進んでいくと考えてございます。

(議長)

- ・この美術館ができる時に、前川建築事務所と随分色々なやりとりをして、当時としては最善の美術館を作っていくようなことをされたら、当時の学芸部長が講演をされたことがあります。
- ・今回もやはり、学芸部では十分リニューアルに関われるような仕組みになっているかと思いますが、県としてはいかがでしょうか。

(武田生涯学習課長)

・それは大丈夫でございます。

(議長)

- ・餅は餅屋というところがあるので、ぜひよろしく願いいたします。
- ・他にまだ少し時間ございますので、どうぞ。

(徳能委員)

- ・泉松陵高校の徳能と申します。
- ・宮城県には小さい規模の美術館はありますが、こんなに大きな規模の美術館はないので、リニューアル期間中の休館は本当に残念ですが、何らかの形で色々なことをしていただきたいです。
- ・先ほど村上委員の方から話がありましたように、ウェブ上でバーチャル美術館のようなものなども考えられるのかなと思います。
- ・それから、美術館の大事な事業の一つとして教育普及事業もあるかと思っておりますので、アウトリーチ事業については継続し、さらに充実させていただければと思っております。よろしく願いいたします。

(議長)

・いかがでしょうか。

(河端館長)

- ・ありがとうございます。
- ・教育普及事業については、かねてから美術館は宮城県教育委員会の中にあるので、学校教育と切り離すことはできません。
- ・今まではどちらかというとおいでいただく形が多いのですが、例えば気仙沼の子どもたちが美術館に来られないときは、アウトリーチ事業としてこちらから出掛ける、又はこちらから何かアプローチできないかと考えていかなければと思います。
- ・政令指定都市を抱える県で、政令指定都市の美術館がないのは宮城県だけです。普通、宮城県と仙台市でそれぞれ美術館があってタイアップできる部分があればと思いますが仙台市にはありません。我々としてもアウトリーチは今後の課題として重要な御指摘だと思っておりますので、職員数の関係などを踏まえて考えていきたいと思っております。

(議長)

- ・私も学校関係者から、先生方で美術に関して教育を受けてきていないため、美術教育はなかなか難しいという話を聞きます。そのため美術館の役割や期待するところは非常に大きく、ある意味で教育というものをかなり担っていると思います。
- ・先ほど館長も冒頭でおっしゃいましたが、そういう意味で教育普及の充実もお考えいただいて、子どもたちを受け入れてくるような仕組みを、どんどん進められたらいいのかなと思います。
- ・そうすると社会の中での美術館の役割が相当高く評価されてくるような感じがいたします。いかがでしょうか。

(古関委員)

- ・昨年は移転問題が非常に大きな関心を呼んで、県民的な運動になったかと思うのですが、そういう意味では、リニューアルについても多くの県民が関心を持っているのかなと思います。
- ・先ほど尾崎議長からは、専門家同士の意見交換をきちんとして欲しいというような御意見もあったのですが、県民や美術関係団体の声をどのように生かすか。
- ・リニューアルについても、そういう話し合いの場や説明会の場というのはあった方がいいのではないかとはい思いますが、いかがでしょうか。

- ・そもそも県が推し進めた美術館の移転問題というのは、県民にしてみれば一方的でプロセスも不透明あったことから、あれほどの関心と呼んだのだと思います。
- ・なので住民説明会など、住民の意見を吸い上げるようなシステムが、リニューアルを検討する上で必要なのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

(武田生涯学習課長)

- ・今回のリニューアルを進める上では、美術や建築等の有識者の方々にお集まりいただきまして、さらに県民の皆様からも御意見をいただきながら策定したリニューアル基本方針を尊重して進めることにしております。
- ・昨年度の検討の結果、リニューアル基本方針に基づきながらも増築をせずに進めるという形になったところでございますが、その基本方針の反映状況等につきましては、基本方針の策定に携わっていただいた方々の御意見をいただきながら、設計を進めていきたいと考えてございます。
- ・さらに、設計業者の協力を得ながら、美術館とともに具体的な整備内容を検討していくということにしてございます。
- ・県民の皆様にもその整備内容をお知らせしながら、基本方針を尊重した設計を進めていければと考えているところでございます。
- ・まずは基本方針の策定に携わっていただいた方々や、県議会の方に整備内容をお知らせさせていただきたいと考えているところでございます。

(議長)

- ・どうもありがとうございます。
- ・色々と情報交流や意見交換に関してはどんどん進めていきたいということですので、仙台放送の寺田委員や、あるいは河北新報の古関委員もおいでになるので、マスコミも協力して、「リニューアルはこういうふうになっているのだ」ということを、ぜひ県民と共有していただきたいと思います。
- ・美術館だけではなかなか発信できませんので、ぜひマスコミの力で、いいものを作っていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。
- ・議事の(1)から(3)まで振り返られまして、委員の方々に言い忘れたということがございましたら、戻っていただいて結構ですが、いかがでしょうか。
- ・何か、これだけは伝えたいというのがございましたら、ぜひお願いします。

(及川委員)

- ・リニューアルについて、前回の協議会の資料にありましたイラストで思い出すのが見える収蔵庫についてです。そのイラストだと一つの展示スペースのようになってしまっています。そうではなくて、本当に作品が休んでいる時、収蔵されている時の姿が見られるという収蔵庫になる予定だったと思います。
- ・「イラストとは少し差がありますね」というような話になった記憶があります。
- ・その中で、見える収蔵庫で修復されるとき様子も見えると良いのではないかと、というようなお話があったかと思います。先ほど美術作品の画像の公開の話がありましたが、そういう修復しているときの過程なども動画で撮って、ホームページに掲載されているというのも、とてもユニークなのではないかと思いました。
- ・それから私が一番気になっていたのは県民ギャラリーの存在です。
- ・先ほども県民ギャラリーが片方なくなって、それが収蔵庫になるという話がありましたが、作家としましては、広さよりもそこに人が来てくれるかどうかの方が非常に気になるころなのです。
- ・リニューアル後には、今まで講演会などをしてきた講堂に新しく県民ギャラリーを作られるということで

すが、同じ入口から、県民ギャラリーも同じように扱っていただけるという計画を、このままぜひ進んで欲しいと思っております。よろしくお願いいたします。

(議長)

- ・何かそれに対してございますか。

(武田生涯学習課長)

- ・講堂のところを多目的ホールという形にさせていただく予定になってございますので、今のところはそのとおりの計画を進めていきたいと考えてございます。

(議長)

- ・そろそろ時間も近づいてきたのですが、もう1件くらいございましたら。

(佐藤委員)

- ・リニューアル工事中に、庭はつぶれないのかなとすごく心配をしていました。
- ・子どもたちが、上がっていくとわくわくするとか、潜っていくと何か面白いなというような庭をリニューアル工事で潰してしまわないような配慮があればとすごく願っています。
- ・それから、リニューアルしたことで、とても使いやすくなるということはあると思いますが、あまりにも現代的過ぎてしまって、温かみみたいなものがなくなるといいなと思います。
- ・新しいけれども古民家のような温かさがあるとか、人々が美術館の持つ思いや色々なイメージというものも大事にして、そこに子どもたちが来るといいと思います。
- ・あとは、小さなお子さんを連れてお母さんたちが憩えるといいのではないかとこのところがあります。
- ・美術館に来るだけでも、何か美術との対話ができるような、そういったこともすごく大事にしたいと思っていましたので、よろしくお願いいたします。

(議長)

- ・そういった声をぜひ大宇根建築設計事務所にもお伝えいただいて、リニューアルを進めていただきたいと思えます。

(議長)

- ・それでは5 その他に移りますけれども、事務局の方から何かございますか。

(司会)

- ・特にございません。

【5 その他】

(議長)

- ・どうもありがとうございます。
- ・他に何か事務局から報告等はございますか。
- ・それではそろそろ時間も押しまいましたので、以上をもちまして、議事を終了いたします。
- ・本日は円滑な運営に御協力いただきまして、どうもありがとうございました。

(司会)

- ・尾崎会長ありがとうございました。
- ・それでは以上をもちまして、本日の美術館協議会を終了いたします。
- ・ありがとうございました。
- ・なお本日、本館2階ではランス美術館展、1階展示室では三の丸尚蔵館展を開催しております。
- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、展示室内での学芸員からの展示解説につきましては行いません

ので御了承いただければと思います。

- ・お時間のある方で、展示をご覧になりたい委員がいらっしゃいましたら、事務局にお申し出いただければと思います。
- ・本日は大変お疲れ様でございました。
(会長)
- ・どうもありがとうございました。

【6 閉 会 午後3時42分】